

つきたい力

情報活用能力を培う中でより大切にしたい「情報モラル」についての認識を深め、正しく情報を取り扱う力。

取組みの概要・ポイント

学校・家庭における1人1台端末の多岐にわたる活用が増えたからこそ、情報を正しく収集することや、SNSにおける取り扱いなど、情報モラルの育成に向けた取組みを学校全体で推進した。また、実施対象を児童のみではなく保護者にも啓発するため、参観日に下記の内容で学習を行った。

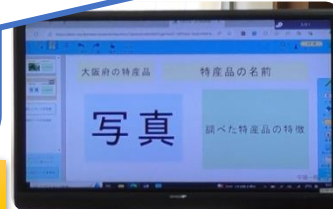
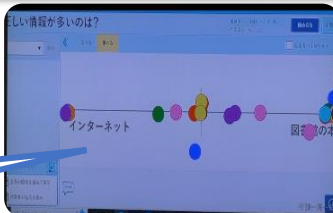
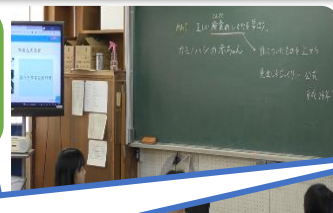
具体的な取組みの内容



3年生：ゲームとのつきあい方について
思考ツールを活用しながら、ゲームのやりすぎはどんなことに影響を及ぼすかを考える。心の健康や対人関係のもつれにつながることを学ぶ。



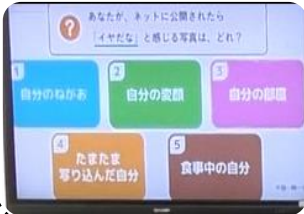
4年生：正しい検索のしかたについて
信頼度の高い情報を得るための検索のしかたについて学ぶ。「正しい情報が多いのはインターネットか図書館の本か？」をポジショニング機能を活用して自分の考えを共有し、アナログとデジタルの併用の良さに気づかせる。



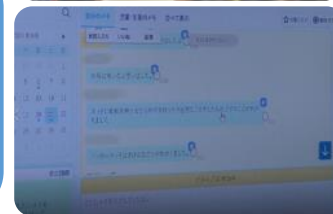
3年生～6年生の教室において 各テーマで実施。



5年生：ネットワーク上での情報の共有について
道徳教材を通して、情報の共有を容易にできつつも、危険性をともなうことについて学ぶ。SKYMENU Cloudの気づきメモを活用し、クラスの考えを共有する。



6年生：SNSとの付き合い方について
一般財団法人LINEみらい財団「SNSの上手な使い方」を考えよう！」を活用し、SNS上での人との関わり方や、写真を投稿する上での留意点について学ぶ。SKYMENU Cloudの発表ノートを活用し、大型TVや黒板に掲示してある同様の素材をもとに、自分の考えを整理していく。



取組みを通しての子どもの変容

当たり前だと理解していることもあれば、勘違いしていたと自身の認識を刷新することもあり、情報活用についての自分の考えを深める時間となった。また、今回の取組みに加えて、普段の活用の中でも情報モラルについて育んできたことから、個人情報や著作権・肖像権に関わる質問に対する児童アンケートでは、個人情報に関する肯定的回答の割合については97%、著作権・肖像権に関する肯定的回答の割合については94.6%と、肯定的回答が多かった。日々正しい認識を更新し続けるようにしている。

